

あやめ野

あいさつのあやめ野

～明るい あいさつ あったか あやめ野～

校訓 「夢 人 力 へ」

AYAMENO

書 高谷 義仁

花あやめ野の野に立つ
すかさずーわがこの母校
若人は心ゆたかに
創造の三年を励む
風立ちは 志一歩の飛は
すやとよ 遠い歴史を
若人は心に刻む
人の世の平和の夢を
お友よ 未来は拓く
友情のつぼみつづけて
はばたけ 光の彼方へ

札幌市立あやめ野中学校校長
上杉 孝子 謹言

札幌市立あやめ野中学校

〒062-0053 札幌市豊平区月寒東3条11丁目15番1号

TEL (011) 856-1234 FAX (011) 856-3510

URL <https://www.ayameno-j.sapporo-c.ed.jp/index.html>



■学校教育目標

未来を担う心豊かでたくましい生徒の育成をめざして

- 1 自ら学ぶ意欲と豊かな創造力を育てる（自ら考え進んで行う生徒であれ）
- 2 広い心と豊かな情操を育てる（広く考えて行動する生徒であれ）
- 3 健全な心とたくましい身体を育てる（心身ともにたくましい生徒であれ）



■校訓

夢 人 力 へ

ゆめ ひと ちから

■学校経営方針

夢を実現し
社会に貢献できる
自立した生徒の育成
をめざして

自立に向けた「豊かな心」の育み

自己肯定感や自己有用感を高め、自分も他人も大切にできる、豊かな人間性を身に付けた生徒の育成を目指す。

自立に向けた「確かな学力」の育み

夢や目標をもち、自ら主体的に学び、「学んだ力」「活用する力」「探究する力」を身に付け、生活を自己管理できる生徒の育成を目指す。

自立に向けた「健やかな体」の育み

自分の健康や体力に関心をもち、望ましい運動習慣や生活習慣づくりを通して、生活を自己管理できる生徒の育成を目指す。

「夢」と「人とのかわり」を大切に
自分の興味関心や憧れ、好奇心や探究心を大切に、学校内外の様々な人とのかわりを通して、「できる子」以上に「伸びる子」の育成を目指します。

充実した学校行事や外部から専門家を招き、直接学ぶ機会を通して人間性を育み、将来の自分の可能性を広げる学校を目指します。

■学校運営の重点

学校の特色を生かした教育課程の推進と信頼される学校の創造	学習指導の充実	「子どもの声を聴く」生徒支援とつながる力を育てる指導の充実
▶「人間尊重の教育」の理念にもとづき、教育相談や「PLUS PLUS」の取組等、子どもの声を聴くことを大切にした特色ある教育課程を全職員で推進する。 ▶CS 導入のための準備委員会を発足し、地域の協力を生かした体験的な学びの充実を図る。 ▶「あいさつのあやめ野」「あったかあやめ野」の伝統を大切にした取組の推進。 ▶学校 HP、保護者メール等による発信により、本校教育への理解促進を図る。 ▶小中一貫教育の継続した取組を推進し、9年間の連続した学びを大切にする。 ▶インクルーシブ教育を推進し、共生社会の実現につながる意識の涵養に取り組む。 ▶防災教育を含めて、近年の災害を想定した学校安全教育を確実に推進する。 ▶働き方改革の取組を継続的に進める。 ▶個人情報管理規定を遵守し情報漏洩等の重大事故防止の自己点検力を高める。	▶全教科を通してすべての子どもが学びの成果を実感できる指導に努める。 ▶ICT 等を活用した課題探究的な学習の充実に取り組む。 ▶学年の成長に応じたマネジメント手帳の活用等の指導を通して自己管理能力を高め、学習習慣の確立や時間管理ができるよう指導する。 ▶地域の中で協働的に学ぶ機会を大切にし、共生社会の担い手としての意識を育てる。 ▶一人一人の学びの姿や成長の適切な評価と励ましに努め、教師の授業改善や生徒自身の意欲喚起につながる形成的評価の充実に取り組む。	▶学校教育のあらゆる場面で、他者への優しさや思いやりある行動をすることや互いのよさや努力する姿を応援することを大切にした指導・支援の充実に取り組む。 ▶日常的な関わりや教育相談の充実に努め、校内生徒委員会での速やかな情報共有により、不登校やいじめ、生徒指導上の諸課題の速やかな初期対応を図り、事態の深刻化を防ぐ。 ▶いじめの指導にあたっては、学校基本方針にもとづき初動から組織対応を図る。

■本校の特色ある教育

◎アクティブラーナーへの道

マネジメント手帳を活用し、計画的な家庭学習と自律的な生活（自己管理能力）の向上を目指します。



◎カーリング授業・スケート授業

本校の通学区の施設を利用し、保健体育科の授業でウィンタースポーツに親しみ、学びます。



◎「健やかな体」育成と「命の大切さ」を学ぶ

「食・性」に関する講演会、ストレッチ講習会を実施し、健康的な身体づくりについて学びます。また、「交通安全の日」を設け交通安全について考えたり、人権に関する講演会を実施するなど命の大切さについて学びます。



■沿革小史

昭和 63.	4. 1	仮称「月寒東地区中学校」開校事務取扱発令 校長予定者 田中稔夫 教頭予定者 豊島猛夫
	11. 1	校名「札幌市立あやめ野中学校」通学区決定 初代校長、初代教頭発令 開校記念日に制定
平成元.	3. 25	生徒受け入れ式
	3. 26	開校式 開校祝賀会(2年 198名 3年 214名)
	4. 7	第1回入学式(1年 186名)
	5. 6	武道館開基式
	5. 27	生徒会設立総会
平成 2.	3. 15	第1回卒業証書授与式
	6. 4	遺跡の森発掘学習開始
	8. 20	男子バスケットボール部全国大会出場
平成 4.	4. 1	2代豊島猛夫校長 長嶋正勝教頭 着任
	12. 28	男子バスケットボール部 全道新人戦優勝
平成 5.	10. 7	グラウンド拡張工事終了
	11. 20	開校5周年記念式典・祝賀会
	11. 26	コンピューター室、図書館 完成
	12. 29	男子バスケットボール部 全道新人戦優勝
平成 6.	4. 1	3代長嶋正勝校長 3代田中一哉教頭 着任
	8. 18	男子バスケットボール部全国大会出場
	12. 26	女子バスケットボール部全道新人戦大会出場
平成 7.	2. 19	北海道管楽器アンサンブルコンクール金賞
平成 8.	1. 12	男子バスケットボール部全道新人戦大会優勝
	4. 1	4代菊地勝将教頭 着任
	8. 22	男子バスケットボール部全国大会出場
平成 9.	4. 1	4代炭谷邦弘校長 着任
	11. 20	本校 PTA 全日本 PTA 協議会会長賞受賞
平成 10.	4. 1	5代大和田詔夫教頭 着任
	6. 2	あやめのロード花壇植付け作業
	10. 30	開校10周年記念式典・記念祝賀会
平成 11.	4. 1	5代渡邊真人校長 着任
	11. 8	心の教室「ふれあい広場」完成
平成 12.	4. 1	6代鹿島靖夫教頭 着任
	10. 28	ウインド アンサンブル 管楽合奏コンテスト全国大会出場最優秀賞
平成 13.	4. 1	7代石川勝海教頭 着任
平成 14.	11. 3	ウインド アンサンブル 全日本吹奏楽コンクール 銅賞受賞
平成 15.	4. 1	6代藤井孝克校長 着任
平成 15.	11. 1	ウインド アンサンブル 全日本吹奏楽コンクール 銅賞受賞
平成 16.	8. 19	ウインド アンサンブル 吹奏楽コンクール北海道大会 金賞

平成 17.	2. 2	PTA 広報紙 札幌市教育長賞(最優秀賞)受賞
	4. 1	8代三浦幹雄教頭 着任
	10. 1	ウインド アンサンブル 全日本吹奏楽コンクール 銅賞受賞
平成 18.	4. 1	7代武田隆二校長 着任
	11. 4	ウインド アンサンブル 管楽合奏コンテスト 全国大会出場 優秀賞受賞
平成 19.	2. 2	PTA 広報紙 札幌市教育長賞(佳作)受賞
	4. 1	9代齋藤敏子教頭着任
	10. 1	ウインド アンサンブル 全日本吹奏楽コンクール 銅賞受賞
	12. 9	演劇部 北海道中学生演劇発表会 優秀賞受賞
平成 20.	10. 31	開校20周年記念式典・記念祝賀会
平成 21.	4. 1	10代青木英樹教頭 着任
平成 23.	2. 2	PTA 広報紙 札幌市教育長賞(優秀賞)受賞
	4. 1	8代木村七郎校長 着任
	8. 3	演劇部 中文連演劇発表会最優秀賞受賞全道大会進出
	10. 9	ウインド アンサンブル 東日本吹奏楽大会(神奈川県)銀賞受賞
平成 24.	4. 1	11代伊藤公一教頭 着任
	4. 1	特別支援学級(情緒)開設
	7. 15	野球 中体連全市3位入賞
	9. 1	ウインド アンサンブル 全日本吹奏楽コンクール全道大会 金賞受賞
	10. 25	学体連全国研究授業公開(2-2 体育)
	11. 30	北海道中高研究大会公開授業(3-3 英語)
平成 25.	2. 3	中体連全国フットボール大会6位入賞(2年女子)
	4. 1	特別支援学級(知的)開設
	8. 5	ウインド アンサンブル 吹奏楽コンクール札幌大会 金賞受賞
	10. 17	「社会を明るくする運動」法務大臣賞受賞
平成 26.	4. 1	9代木村佳子校長 着任
	8. 5	ウインド アンサンブル 吹奏楽コンクール札幌大会 金賞受賞
	2. 2	中体連全国フットボール大会5位入賞(3年女子)
平成 27.	4. 1	12代吉田文昭教頭 着任
	8. 5	ウインド アンサンブル 吹奏楽コンクール札幌大会 金賞受賞
平成 28.	1. 10	木管演奏個人金賞受賞(2年女子)
平成 29.	4. 1	10代鈴木康裕校長 着任 13代高橋伸充教頭 着任
平成 30.	11. 31	開校30周年記念式典(公開授業、記念式典、記念祝賀会)
平成 31.	4. 1	14代児玉麻知子教頭 着任
令和 元.	11. 8	北海道道徳教育研究大会授業公開(1-1・2-3・3-1)
令和 2.	4. 1	11代福島祥郎校長 着任 15代武富洋一教頭 着任
令和 5.	4. 1	12代大高雅子校長 着任 16代森山正樹教頭 着任
令和 7.	4. 1	17代銘苅明彦教頭 着任

■校名の由来

校名「あやめ野」の名称は、本校東側に八紘学園の菖蒲園があり地域住民になじみ親しまれていること、通学区域内にあやめ野小学校があることから、「あやめ野」を冠した。

■校章のころ

全体像はあやめの花を表しています。



中央の円は「心身ともに健康で心豊かな生徒」の育成をめざしてあやめ野の台地に建つ本校の姿を、白い花びらの間の黒は「真・善・美」を求めて本校に学ぶ生徒の姿を象形しています。次代を担うためにたくましく前進する生徒の姿を願ってデザインされています。

(デザイン 初代校長 田中 稔夫先生)

■校歌のころ

詩・並びに曲の構成については、印象の強い「遺跡の森」を第2節に詠み込み、経営資料の中から教育目標の「ゆたかな心」「創造」という事柄も第1節に取り入れました。第2節の結びの「平和の尊さ」は個人間のいじめの問題や集団での暴力行動、延いては国と国との戦争にいたるまで……このような事態があってはならないということ。また、そのような意識は中学校生活の中でしっかりと培うべきという作者の願いであります。

「あやめ野」という固有名詞を最もゆかりの深いことばとして冒頭に掲げておきました。曲につきましては中学生の声域を十分に配慮したつもりですので、歌唱上苦しい箇所は無いと存じます。第1-2節は比較のおだやかに上品に、そして coda はいきいきとリズムカルに力強く歌い結ぶようにと意図しました。

拙作ではありますが、先生方のご熱心なご指導により全生徒諸君が習熟され、長く貴校教育活動のシンボルとしてご愛唱いただけますならば、作者としての幸い之に過ぎるものではありません。

(作詩・作曲いただいた上元芳男先生の書簡から引用)